



## 2025年9月期 第2四半期（中間期）決算短信〔IFRS〕（連結）

2025年5月9日

上場会社名 株式会社FOOD & LIFE COMPANIES 上場取引所 東  
 コード番号 3563 URL <https://www.food-and-life.co.jp/>  
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 山本 雅啓  
 問合せ先責任者（役職名） 執行役員（氏名） 吉田 剛（TEL）06-6368-1001  
 半期報告書提出予定日 2025年5月14日 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満四捨五入）

## 1. 2025年9月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年10月1日～2025年3月31日）

## （1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		中間利益		親会社の所有者に 帰属する中間利益		中間包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年9月期中間期	203,814	15.8	19,535	58.9	18,206	58.2	12,596	66.0	11,869	63.1	12,843	61.3
2024年9月期中間期	175,989	22.8	12,295	135.0	11,509	150.1	7,589	103.6	7,278	100.8	7,960	188.6

  

	調整後EBITDA		基本的1株当たり 中間利益	希薄化後1株当たり 中間利益
	百万円	%	円 銭	円 銭
2025年9月期中間期	27,126	47.3	104.91	103.69
2024年9月期中間期	18,414	62.1	62.91	62.32

## （2）連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2025年9月期中間期	374,371	87,542	85,585	22.3
2024年9月期	365,154	77,837	76,568	20.5

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年9月期	—	0.00	—	30.00	30.00
2025年9月期	—	0.00	—	—	—
2025年9月期（予想）	—	—	—	30.00	30.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有  
 2024年9月期期末配当金の内訳 普通配当 27円50銭 記念配当 2円50銭

## 3. 2025年9月期の連結業績予想（2024年10月1日～2025年9月30日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上収益		調整後EBITDA		営業利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	416,000	15.2	46,500	24.0	32,500	39.0	19,000	29.8	167.94

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無  
 新規 一社(社名)一、除外 一社(社名)一

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(中間期)

2025年9月期中間期	116,069,184株	2024年9月期	116,069,184株
2025年9月期中間期	2,930,320株	2024年9月期	2,945,764株
2025年9月期中間期	113,127,810株	2024年9月期中間期	115,693,659株

(4) 各種指標の算式

指標	算式
調整後EBITDA	営業利益+減価償却費及び償却費(使用権資産の減価償却費を除く)+減損損失

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その実現を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項については、添付資料4ページ「1. 当中間決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 要約中間連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 要約中間連結財政状態計算書	5
(2) 要約中間連結損益計算書	6
(3) 要約中間連結包括利益計算書	7
(4) 要約中間連結持分変動計算書	8
(5) 要約中間連結キャッシュ・フロー計算書	9
(6) 要約中間連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(セグメント情報)	10
(販売費及び一般管理費)	11
(1株当たり利益)	11
(重要な後発事象)	11

## 1. 当中間決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、賃上げ等に伴う個人消費の持ち直しや、インバウンド需要が増加したことにより、緩やかな経済活動の回復が見られました。一方で、世界的な政情不安や想定以上の円安の長期化に伴う物価上昇により、先行き不透明な状況が続いております。

外食業界におきましても、原材料価格やエネルギー価格等の高騰に加え、慢性的な人手不足等により引き続き厳しい状況が続いております。

このような状況の中、当社グループでは、「変えよう、毎日の美味しさを。広めよう、世界に喜びを。」をVISIONとして、日々の食を美味しくすることで、お客様の生活や人生までゆたかにしたいという願いに向けて、商品開発、店内調理、安心・安全の取り組み及びサービスの向上に取り組んで参りました。

また、業態別店舗数は以下のとおりであります。

[当社グループ業態別店舗数]

業態名	前連結会計年度末	出店実績	閉店実績	当中間連結会計期間末
国内：スシローブランド (テイクアウト専門店)	655(9)	6	2	659(9)
国内：杉玉ブランド(FC)	87(17)	4	—	91(17)
国内：京樽ブランド	117(—)	—	9	108(—)
国内：回転寿司みさき・ 三崎丸ブランド	95(—)	1	4	92(—)
国内：その他ブランド	18(—)	—	2	16(—)
国内合計	972(26)	11	17	966(26)
海外：スシローブランド (テイクアウト専門店)	174(—)	27	2	199(—)
海外：その他ブランド	9(—)	—	—	9(—)
海外合計	183(—)	27	2	208(—)
国内外合計	1,155(26)	38	19	1,174(26)

( ) 内は内数でテイクアウト専門店・FCの店舗数

以上の結果、当中間連結会計期間の経営成績は、売上収益203,814百万円(前年同期比15.8%増)、営業利益19,535百万円(前年同期比58.9%増)、税引前中間利益18,206百万円(前年同期比58.2%増)、親会社の所有者に帰属する中間利益11,869百万円(前年同期比63.1%増)となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

(国内スシロー事業)

「すしに真っすぐ!」を掲げ、魅力的なキャンペーンやIPコラボを積極的に展開しました。Youtuberさまぐれクックとのコラボでは、「カンジャンケジャン」や「カンジャンセウ」などを含む5商品を販売。「やっぱり生がうまい!」をテーマにした鮮度にこだわったキャンペーンでは、生鮮魚「寒ぶり」を提供し、お客様に大変ご好評をいただきました。

さらに、キャラクター大賞5連覇の大人気キャラクター「シナモロール」、ゲーム「モンスターハンター」や、10周年を迎えた「ハイキュー!!」とのコラボを実施。コラボメニュー、限定グッズ、SNSキャンペーンを展開し、お客様にお楽しみいただきました。

以上の結果、国内スシロー事業の売上収益は129,097百万円(前年同期比8.5%増)、セグメント利益は11,178百万円(前年同期比39.8%増)となりました。

## (海外スシロー事業)

中国大陸は回復基調にあり、その他の地域でも好調が続いています。また、2月にはマレーシアに1号店をオープンし、積極的な出店を継続しております。

来店客数の維持・拡大に向けて、魅力的な販促・マーケティング施策を各地域で継続的に実施しており、香港では「かに祭」を開催し、蟹を使用した期間限定メニューの提供。シンガポールでは春節を祝う「CNY」キャンペーンを実施し、数量限定メニュー「生タラバ炙り一本」や「本鮪赤身」などをご堪能いただきました。

以上の結果、海外スシロー事業の売上収益は58,807百万円(前年同期比41.5%増)、セグメント利益は6,371百万円(前年同期比98.7%増)となりました。

## (京樽事業)

京樽ブランドでは、京樽が誇る「上方鮭」の定番メニューである押し鮭を冷凍した「冷凍 焼鯖鮭」が、2月に開催された、第1回「日本全国!ご当地冷凍食品大賞2024-2025」にて、優秀賞を受賞しました。また、各種販促や期間限定商品などを継続して展開しており、お正月には「京樽の懐石おせち」3種類に加えて「京樽冷凍おせち」1種類を販売開始、節分には「京樽こだわりの恵方巻」、ひな祭りには彩り豊かな「京樽のひなちらし」をお客様にお楽しみいただきました。

みさきブランドでは、ロードサイドでの出店余地拡大を目指し、「回転寿司みさき 三郷店」を1月にオープンしました。従来の月替わり、週替わりの販促に加え、職人がネタ本来の美味しさを引き出すためのひと手間を加えた「今月の新作」も提供しました。年始には絶品天然本まぐろをお楽しみいただける「本まぐろ祭」、2月には「超みさきデー」も開催し、こだわりの「特製赤シャリ」を使った「本ずわい蟹」税込121円を5日間、「特ネタ中トロ」を5日間限定で販売しました。

以上の結果、京樽事業の売上収益は12,061百万円(前年同期比2.2%減)、セグメント利益は45百万円(前年同期比8.9%減)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産、負債及び資本の状況

## (資産)

総資産の残高は、前連結会計年度末に比べ9,217百万円増加し、374,371百万円となりました。

流動資産の残高は、前連結会計年度末に比べ2,181百万円増加し、76,836百万円となりました。これは主に、現金及び現金同等物が1,359百万円減少した一方で、営業債権及びその他の債権が2,094百万円、棚卸資産が1,726百万円増加したこと等によるものであります。

非流動資産の残高は、前連結会計年度末に比べ7,036百万円増加し、297,535百万円となりました。これは主に、新店出店等により有形固定資産が6,944百万円増加したこと等によるものであります。

## (負債)

負債合計は、前連結会計年度末に比べ488百万円減少し、286,829百万円となりました。

流動負債の残高は、前連結会計年度末に比べ4,285百万円減少し、76,558百万円となりました。これは主に、営業債務及びその他の債務が1,433百万円増加した一方で、社債の一部につき借換を実施したことに伴い社債及び借入金金が5,000百万円減少、引当金が1,926百万円減少したこと等によるものであります。

非流動負債の残高は、前連結会計年度末に比べ3,797百万円増加し、210,271百万円となりました。これは主に、社債の一部につき借換を実施したことに伴い、社債及び借入金金が2,992百万円増加したこと等によるものであります。

## (資本)

資本合計は、前連結会計年度末に比べ9,705百万円増加し、87,542百万円となりました。これは主に、配当金の支払により3,394百万円減少した一方で、親会社の所有者に帰属する中間利益の計上により11,869百万円増加したこと等によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ1,359百万円減少し、47,336百万円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は、26,219百万円(前年同期比8.9%減)となりました。

これは主に、税引前中間利益18,206百万円、減価償却費及び償却費17,227百万円の計上、営業債務及びその他の債務の増加が1,648百万円があった一方で、法人所得税の支払額が4,893百万円、営業債権及びその他の債権の増加が2,088百万円、賞与引当金の減少が1,865百万円、棚卸資産の増加が1,739百万円あったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、11,632百万円(前年同期比24.2%増)となりました。

これは主に、新規出店等に伴う有形固定資産の取得による支出が11,289百万円あったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、16,135百万円(前年同期比10.4%増)となりました。

これは主に、社債の償還による支出が5,000百万円、社債の発行による収入が4,974百万円、リース負債の返済による支出が10,717百万円、配当金の支払額が3,386百万円、長期借入金の返済による支出が2,005百万円あったこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、中間連結会計期間の業績を鑑み、通期連結業績予想を修正いたしました。詳細については、2025年5月9日公表の「業績予想及び配当予想の修正(増配)に関するお知らせ」をご参照下さい。

なお、連結業績予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、景気動向等の様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## 2. 要約中間連結財務諸表及び主な注記

## (1) 要約中間連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (2025年3月31日)
<b>資産</b>		
流動資産		
現金及び現金同等物	48,695	47,336
営業債権及びその他の債権	13,882	15,975
棚卸資産	6,512	8,238
その他の金融資産	2,940	1,929
その他の流動資産	2,627	3,359
流動資産合計	74,656	76,836
非流動資産		
有形固定資産	184,936	191,880
のれん	30,371	30,371
無形資産	57,016	57,014
持分法で会計処理されている投資	52	52
敷金及び保証金	14,766	15,254
その他の金融資産	1,232	1,260
繰延税金資産	1,552	1,103
その他の非流動資産	574	600
非流動資産合計	290,499	297,535
資産合計	365,154	374,371
<b>負債及び資本</b>		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	35,569	37,002
社債及び借入金	9,009	4,009
未払法人所得税	4,710	5,356
リース負債	19,523	20,516
その他の金融負債	1,006	1,166
引当金	5,275	3,349
その他の流動負債	5,750	5,159
流動負債合計	80,843	76,558
非流動負債		
営業債務及びその他の債務	22	22
社債及び借入金	75,514	78,506
リース負債	112,838	113,713
その他の金融負債	105	100
引当金	4,730	4,992
繰延税金負債	13,264	12,938
非流動負債合計	206,474	210,271
負債合計	287,317	286,829
資本		
資本金	100	100
資本剰余金	15,734	15,726
利益剰余金	65,818	74,287
自己株式	△9,156	△9,108
その他の資本の構成要素	4,073	4,580
親会社の所有者に帰属する持分合計	76,568	85,585
非支配持分	1,269	1,958
資本合計	77,837	87,542
負債及び資本合計	365,154	374,371

## (2) 要約中間連結損益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)
売上収益	175,989	203,814
売上原価	△76,382	△86,068
売上総利益	99,607	117,745
販売費及び一般管理費	△85,867	△97,861
その他の収益	294	377
その他の費用	△1,739	△726
営業利益	12,295	19,535
金融収益	228	96
金融費用	△1,014	△1,425
税引前中間利益	11,509	18,206
法人所得税費用	△3,920	△5,610
中間利益	7,589	12,596
中間利益の帰属		
親会社の所有者	7,278	11,869
非支配持分	311	727
中間利益	7,589	12,596
1株当たり中間利益		
基本的1株当たり中間利益(円)	62.91	104.91
希薄化後1株当たり中間利益(円)	62.32	103.69

## (3) 要約中間連結包括利益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)
中間利益	7,589	12,596
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて測定する金融資産の公正価値の純変動	—	△2
純損益に振り替えられることのない項目合計	—	△2
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	371	249
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	371	249
税引後その他の包括利益	371	248
中間包括利益	7,960	12,843
中間包括利益の帰属		
親会社の所有者	7,643	12,135
非支配持分	317	709
中間包括利益	7,960	12,843

## (4) 要約中間連結持分変動計算書

前中間連結会計期間(自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)

(単位: 百万円)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の 資本の構 成要素	親会社の 所有者に 帰属する 持分合計	非支配持分	資本合計
2023年10月1日時点の残高	100	15,676	53,787	△1,840	4,544	72,268	391	72,659
中間利益			7,278			7,278	311	7,589
その他の包括利益					365	365	6	371
中間包括利益合計	—	—	7,278	—	365	7,643	317	7,960
自己株式の処分		△39		67	△14	13		13
自己株式の取得				△0		△0		△0
新株予約権の失効		31			△31	—		—
株式に基づく報酬取引					274	274		274
配当金			△2,603			△2,603		△2,603
所有者との取引額合計	—	△8	△2,603	67	228	△2,316	—	△2,316
2024年3月31日時点の残高	100	15,668	58,462	△1,773	5,137	77,594	708	78,303

当中間連結会計期間(自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)

(単位: 百万円)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の 資本の構 成要素	親会社の 所有者に 帰属する 持分合計	非支配持分	資本合計
2024年10月1日時点の残高	100	15,734	65,818	△9,156	4,073	76,568	1,269	77,837
中間利益			11,869			11,869	727	12,596
その他の包括利益					266	266	△18	248
中間包括利益合計	—	—	11,869	—	266	12,135	709	12,843
自己株式の処分		1		48	△13	36		36
自己株式の取得				△0		△0		△0
新株予約権の失効		8			△8	—		—
株式に基づく報酬取引					257	257		257
配当金			△3,394			△3,394		△3,394
利益剰余金への振替			△6		6	—		—
連結子会社株式の取得による持分の増減		△17				△17	△20	△37
所有者との取引額合計	—	△8	△3,399	48	242	△3,118	△20	△3,138
2025年3月31日時点の残高	100	15,726	74,287	△9,108	4,580	85,585	1,958	87,542

## (5) 要約中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間利益	11,509	18,206
減価償却費及び償却費	14,721	17,227
減損損失	503	567
金融収益	△228	△96
金融費用	1,014	1,425
賞与引当金の増減額(△は減少)	724	△1,865
敷金及び保証金の家賃相殺額	136	133
営業債権及びその他の債権の増減額(△は増加)	△3,257	△2,088
棚卸資産の増減額(△は増加)	△1,354	△1,739
営業債務及びその他の債務の増減額(△は減少)	3,833	1,648
その他	2,092	△1,163
小計	29,692	32,255
利息及び配当金の受取額	68	71
利息の支払額	△872	△1,213
法人所得税の支払額	△1,153	△4,893
法人所得税の還付額	1,030	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	28,766	26,219
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△8,013	△11,289
有形固定資産の売却による収入	8	12
無形資産の取得による支出	△600	△822
定期預金の預入による支出	△1,102	△985
定期預金の払戻による収入	661	2,163
敷金及び保証金の差し入れによる支出	△471	△1,173
投資有価証券の取得による支出	△235	—
その他	388	462
投資活動によるキャッシュ・フロー	△9,364	△11,632
財務活動によるキャッシュ・フロー		
社債の償還による支出	△20,000	△5,000
社債の発行による収入	19,494	4,974
長期借入金の返済による支出	△2,005	△2,005
リース負債の返済による支出	△9,523	△10,717
支払手数料の支払による支出	△8	△9
自己株式の取得による支出	△0	△0
新株予約権の行使による収入	13	38
配当金の支払額	△2,597	△3,386
非支配持分からの子会社持分取得による支出	—	△37
その他	6	8
財務活動によるキャッシュ・フロー	△14,618	△16,135
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	4,784	△1,548
現金及び現金同等物の期首残高	51,228	48,695
現金及び現金同等物に係る換算差額	123	189
現金及び現金同等物の中間期末残高	56,135	47,336

## (6) 要約中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

## (セグメント情報)

## ①報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、主に事業別のセグメントから構成されております。

各報告セグメントに含まれる主要ブランドは以下のとおりであります。

国内スシロー事業：国内で展開する「スシロー」及びテイクアウト専門店

海外スシロー事業：海外で展開する「スシロー」及びテイクアウト専門店

京樽事業：株式会社京樽が運営する全ブランド(主要ブランド「京樽」・「回転寿司みさき」・「海鮮三崎港」)

その他事業：株式会社FOOD &amp; LIFE INNOVATIONS が運営する全ブランド(主要ブランド「杉玉」)

## ②報告セグメント売上収益及び業績

当社グループの報告セグメントによる売上収益及び業績は以下のとおりです。

前中間連結会計期間(自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				合計	調整額合計 (注) 2	連結合計
	国内スシロー事業	海外スシロー事業	京樽事業	その他事業			
売上収益							
外部収益	118,993	41,561	12,325	3,110	175,989	—	175,989
セグメント間収益	—	—	9	33	42	△42	—
計	118,993	41,561	12,335	3,143	176,032	△42	175,989
セグメント利益 (注) 1	7,994	3,206	50	37	11,286	1,009	12,295
その他の項目							
減価償却費及び償却費	8,061	5,056	851	343	14,312	409	14,721
減損損失	259	162	57	24	503	—	503

(注) 1. セグメント利益は要約中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. セグメント利益の調整額1,009百万円には、主にセグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社損益が含まれております。

当中間連結会計期間(自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				合計	調整額合計 (注) 2	連結合計
	国内スシロー事業	海外スシロー事業	京樽事業	その他事業			
売上収益							
外部収益	129,097	58,805	12,029	3,883	203,814	—	203,814
セグメント間収益	—	2	32	68	103	△103	—
計	129,097	58,807	12,061	3,951	203,916	△103	203,814
セグメント利益 (注) 1	11,178	6,371	45	30	17,625	1,910	19,535
その他の項目							
減価償却費及び償却費	8,673	6,737	859	426	16,695	533	17,227
減損損失	17	488	48	15	567	—	567

(注) 1. セグメント利益は要約中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. セグメント利益の調整額1,910百万円には、主にセグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社損益が含まれております。

## (販売費及び一般管理費)

販売費及び一般管理費の内訳は以下のとおりであります。

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)
従業員給付費用	47,987	54,716
減価償却費及び償却費	14,687	17,185
水道光熱費	4,015	4,846
支払手数料	3,557	3,985
その他	15,621	17,129
合計	85,867	97,861

## (1株当たり利益)

	前中間連結会計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)
親会社の普通株主に帰属する中間利益(百万円)	7,278	11,869
基本的1株当たり中間利益の計算に使用する普通株式に係る中間利益(百万円)	7,278	11,869
希薄化後1株当たり中間利益の計算に使用する普通株式に係る中間利益(百万円)	7,278	11,869
基本的期中平均普通株式数(株)	115,693,659	113,127,810
希薄化後1株当たり中間利益の計算に用いられた普通株式増加数(株)	1,093,930	1,338,060
希薄化後の期中平均普通株式数(株)	116,787,589	114,465,870
基本的1株当たり中間利益(円)	62.91	104.91
希薄化後1株当たり中間利益(円)	62.32	103.69
希薄化効果を有しないため、希薄化後1株当たり中間利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	新株予約権4種類 (普通株式284千株)	新株予約権3種類 (普通株式176千株)

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。